

平成30年度各部の重点取組の取組結果

部(局)名	消防本部
部(局)長名	村上 和則
理事名	笹野 光則（大規模特異災害担当）
理事名	大矢根 正明（北部消防庁舎等複合施設建設準備担当）

【基本姿勢】

火災、救急など日常的に発生する災害のほか、今後発生が懸念される南海トラフ巨大地震等の大規模災害に備え、消防に対する市民ニーズはますます高まっています。そのような状況の中、消防本部が取り組む施策・事業は、「災害に強い安全なまちづくり」の実現に不可欠なものとして、積極的に推進していく必要があります。

消防本部では、各施策を進めるにあたり、中・長期的な目標を定め、より具体的で実効性のある事業計画を策定し、消防力の向上と市民から信頼される消防体制の構築に努めます。

【達成度について】

- A：達成（設定した目標を達成することができた。）
 B：一部達成（設定した目標の一部のみ達成することができた。）
 C：未達成（目標達成に向け取り組んだものの、目標達成には至らなかった。）

【重点課題】

	重点課題	平成30年度 達成状況
1	北部消防庁舎等複合施設建設準備（北消防署等再整備）の推進	A
2	防火意識の普及啓発及び火災予防の推進	A
3	消防・防災体制の充実強化	A
4	救急救命体制の充実強化	A
5	救助体制の充実強化	A
6	消防通信指令業務の共同運用	A

部(局)名	消防本部
-------	------

重点課題 1	北部消防庁舎等複合施設建設準備（北消防署等再整備）の推進
--------	------------------------------

全体の達成度
A
達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	大規模災害時に北部の活動拠点となる消防庁舎等の建設を推進します。
---------------------	----------------------------------

活動目標
北部消防庁舎等複合施設の建設準備を推進します。
関係部局と協議・検討し、消防力強化を踏まえた北消防署等の再整備を推進します。

具体的な取組実績
関係部局を含めた「北部消防庁舎等複合施設建設推進委員会」を立ち上げ、3回開催し、「北部消防庁舎等複合施設建設基本構想・基本計画」の策定について協議をしました。
北消防署跡地に整備予定の消防施設（消防出張所）の整備手法等を関係部局と検討するとともに、北消防署敷地内にある府有地の購入等について大阪府茨木土木事務所と協議しました。

達成目標
北部消防庁舎等複合施設建設に向けて、基本構想・基本計画を策定します。
北消防署の再整備に伴い、中消防庁舎との集約化及び北消防署跡地での消防出張所の整備等をより具体的に進めます。

達成状況	達成度
「北部消防庁舎等複合施設建設基本構想・基本計画」を策定しました。	A 達成
北部消防庁舎等複合施設の建設スケジュールに合わせ、中央環状線以北の消防力を継続的に維持するため、北消防署跡地への消防施設（消防出張所）の整備等が方向づけられました。	A 達成

総合評価・総括
<p>平成30年度の取組では、関係部局を含めた「北部消防庁舎等複合施設建設推進委員会」を立ち上げ、北部消防庁舎等複合施設建設基本構想・基本計画を策定したほか、中央環状線以北の消防力を継続的に維持するため、北消防署跡地に消防施設（消防出張所）の建設が方向づけられました。今後は、当該複合施設が市北部の災害活動拠点として、効率的で迅速な災害活動が行えるよう、消防の諸機能を検討し、市内消防力の強化を目指します。</p>

部(局)名	消防本部
-------	------

重点課題 2	防火意識の普及啓発及び火災予防の推進
--------	--------------------

全体の達成度
A
達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	火災予防を推進し、火災の減少及び被害の軽減を目指します。
---------------------	------------------------------

活動目標
住宅防火訪問等により、火災予防意識の高揚を図り、放火防止対策や住宅防火対策を推進します。
防火対象物、危険物施設及び高圧ガス施設等への査察により、事故防止の徹底を図ります。

具体的な取組実績
春、秋の火災予防週間中には、住宅防火訪問として各消防署から市内住戸を訪問し、放火防止対策や住宅防火対策の普及活動を実施し、住宅用火災警報器の設置促進にも努めました。また、同週間中に市役所1階において消防フェアを開催し、市内小中学校から募集した防火図画、防火標語を展示するなど、火災予防を広く訴えました。消防音楽隊の演奏会においては、観客に対し火災予防広報を実施しました。防火・防災講演会及び危険物安全講演会を実施し、市民に対し広く防火防災意識の普及啓発活動を実施しました。
消防署において、防火対象物及び危険物施設への定期的な査察を実施しました。また、消防本部では高圧ガス・液化石油ガス・火薬類施設・危険物施設への査察を実施し、適正な是正指導を図ることにより、事故防止に努めました。

達成目標
住宅用火災警報器の設置等を推進し、住宅火災による人的、物的被害を軽減します。
査察における是正指導により、自主的な防火管理体制を確立させます。

達成状況	達成度
住宅用火災警報器の設置率は、これまでの調査により、着実に普及推進されています。また、消防音楽隊の演奏会や、防火・防災に関する講演会、火災予防週間における各行事の実施により多くの市民に対し、防火PRができました。	A 達成
査察時に把握した是正部分は的確にわかりやすく指導したことにより市民による自主防火管理体制が着実に確立されています。	A 達成

総合評価・総括
春、秋の全国火災予防週間実施に伴う一般市民に対する防火訪問の実施や、市役所における消防フェアの実施、防火・防災講演会や危険物安全講演会、消防音楽隊演奏会における火災予防広報を実施することで市民に対し広く火災予防をPRできました。その結果、平成30年の火災件数は48件となり、平成29年よりも10件も少ない件数となりました。今後も火災予防を推進し、火災件数を0件に近づけるよう改善していく必要があります。

部(局)名	消防本部
-------	------

重点課題 3	消防・防災体制の充実強化
--------	--------------

全体の達成度
A
達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	地震等の大規模災害に対する消防・防災体制強化に努め、災害に強い安全なまちづくりを目指します。
---------------------	--

活動目標
地域の自主消火組織及び事業所の自衛消防隊に対し訓練等を通じた育成強化を図ります。
地域実状に応じた可搬式小型動力ポンプや消防水利等を適正に配置します。

具体的な取組実績
市内1地区において、新たに自主消火組織が結成され、自主消火組織及び事業所に対して消防訓練をはじめ、関連行事への参加を要請しました。
市内1地区の公園へ耐震性防火水槽（40t）を設置し、可搬式小型動力ポンプを配備しました。

達成目標
自主消火組織や自衛消防組織との連携を強化し、消防・防災における地域力の向上に努めます。
可搬式小型動力ポンプ等の計画整備により、地域の初期消防活動体制の強化に努めます。

達成状況	達成度
自主消火組織の増加により、防災力を向上することができ、地域防災訓練・消防出初式等への参加により、職員との連携及び消火・防災活動を強化することができました。	A 達成
高野台3丁目7番めじろ遊園に、耐震性防火水槽（40t）を設置しました。また、山手町2丁目地内に可搬式小型動力ポンプ配備により、大規模災害時における消防力を向上することができました。	A 達成

総合評価・総括
<p>地域の実情に応じた可搬式小型動力ポンプ及び消防水利を適正に配置し、消防・防災体制の強化が図れました。自主消火組織・自衛消防隊については、可搬式小型動力ポンプ等の取扱い訓練をはじめ、防災訓練などの関連行事に積極的に参加していただくことで、連携強化・防災力の向上を図ることができました。</p>

部(局)名	消防本部
-------	------

重点課題 4 救急救命体制の充実強化

全体の達成度
A
達成

目指すべき方向 (中期的な目標) 高度救命資器材の充実と救急隊員の資質の向上による救急救命体制の充実強化や、応急手当普及啓発を推進し住民の自主救護の意識を高め、救命率の向上を図ります。

活動目標

救急業務の高度化に伴う高度救命資器材の整備運用及び救急関連資格取得に伴う教育機関等への職員派遣を推進します。

AEDの使用も含めた救急講習を計画的に実施し、応急手当普及啓発活動を展開します。

具体的な取組実績

平成30年度に救急隊の増隊（9隊目）及び、高度救命資器材の強化を実施しました。また、救急救命士の養成人員を増員した他、救急隊員の研修派遣を精力的に行い、救急活動の強化を図りました。

応急手当普及啓発活動の推進による、応急手当講習受講者数の増加を図りました。

達成目標

救命率の向上に繋げるため、高度救命資器材の充実を推進し、医療機関との連携を充実強化し、救急隊員の資質向上を図ります。

日常生活の中で急病人に遭遇した場合や災害時に対応できるよう、住民一人ひとりの自主救護能力の向上を図ります。

達成状況	達成度
救急隊員の資質の向上や消防隊の救急隊支援、医療機関との連携などの強化により、全国平均の救命率13.5%のところ、本市では23.3%と高水準です。	A 達成
平成30年の救急講習受講者数は10,780人と平成29年に続き1万人を超えました。	A 達成

総合評価・総括

救急出動件数は年々増加していますが、救急隊の増隊、救急隊員への教育の強化、消防隊との連携活動訓練の実施、救急隊の実践訓練の開催、医療機関との連携などの強化により、高い救命率を維持しています。また、応急手当普及啓発活動の強化を図り、救急講習受講者数は10,780人と平成29年に続き1万人を超えました。住民による自主救護意識も高まり、住民によるAED使用も増加してきています。

部(局)名	消防本部
-------	------

重点課題 5	救助体制の充実強化
--------	-----------

全体の達成度
A
達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	特殊災害への対応能力の向上を推進します。
---------------------	----------------------

活動目標
救急隊及び災害医療機関との連携訓練を実施し、救助体制の充実強化を図ります。
高度救助資機材を活用した訓練を実施し、特殊災害への対応能力の向上を図ります。

具体的な取組実績
災害医療機関等が参加する国の訓練に参加するなど、救助体制の充実強化に努めました。
高度救助資機材を活用した訓練や、特殊災害対応訓練を実施するなど、対応能力の向上に努めました。

達成目標
救急隊及び災害医療機関との相互連携を強化し、救助隊員の資質・能力の向上を図ります。
専門的な教育機関への職員派遣を通じ高度救助資機材の取扱いに習熟し、万全な救助体制の構築を図ります。

達成状況	達成度
専門的な教育機関の研修や、国の実施する技術訓練等を通じ災害医療機関や他機関との相互連携の強化に努め、高度救助隊員を中心に隊員の資質・能力の向上を図りました。	A 達成
専門的な教育機関の研修や、国の実施する専門的な技術訓練に参加し、資器材の取扱いや技術の習熟に努めました。また、高度救助資機材を活用した訓練を継続的に実施し万全な救助体制の構築を図りました。	A 達成

総合評価・総括
<p>特殊災害への対応能力を向上させるため、高度救助隊員を中心に専門的な教育機関の研修への参加や、国の実施する専門的な技術訓練に隊員を派遣するなど、救助隊員の能力向上に努めました。また、専門的な研修や技術訓練を通じ他機関との連携強化に努めました。引き続き特殊災害への対応能力の向上に努め、万全な救助体制の構築を図ります。</p>

部(局)名	消防本部
-------	------

重点課題 6 消防通信指令業務の共同運用

全体の達成度
A
達成

目指すべき方向
(中期的な目標) 消防通信指令施設を摂津市と共同で運用することで、消防力の効果的運用による市民サービスの向上を目指します。

活動目標

吹田市、摂津市の2市共同で高機能消防指令センターを維持管理し運用します。

高機能消防指令センターの運用に伴い、災害事案救急事案等に対応する確実性、迅速性を向上します。

具体的な取組実績

吹田市、摂津市両市の職員が互いに連携し、高機能消防指令センターを維持管理し運用することにより、さまざまな災害、市境界付近で発生した火災、救急などに対するの応援体制を強化しました。

高機能消防指令センターの指令装置は、4画面フルタッチパネルディスプレイで構成され、電子ペンや手書き文字認識を採用することで、直感的な操作により職員の負荷を軽減し、災害事案、救急事案等に対応する確実性、迅速性を向上しました。

達成目標

災害活動における情報伝達の迅速化を図ります。

高機能消防指令センターの多種多様な機能を活用し災害対応の迅速化を図ります。

達成状況	達成度
吹田市、摂津市両市の職員が互いに連携して、災害活動における情報の収集・整理・意思決定・発信の迅速化、効率化を図ることができました。	A 達成
平成30年度においては地震、台風と立て続けに災害が発生しましたが、高機能消防指令センターの多種多様な機能を活用することにより、災害対応の迅速化を図ることができました。	A 達成

総合評価・総括

高機能消防指令センターを吹田市、摂津市で共同運用することにより、今後もさらなる消防力の効果的運用及び市民サービスの向上を図り、費用面での節減効果も目指します。

また、119番通報の内容に応じて出動車両選別の適確な出動指令及び大規模災害時における非常時指令業務対応を行います。出動隊には現場活動に対する支援情報を送るとともに関係機関への連絡や一時的な報道対応も適切に実施します。